

政策	62 商工業の振興						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市内商工業者						
施策が目指す姿	まちの魅力や市民生活の利便性の向上に資する商業機能の再生や活性化を図る。 まちの活力を生み出す経済的基盤として工業全体の競争力の強化を図る。						
成果指標	市内商工業の総売上高 現状値9,900億円 H29年度目標値10,000億円 単位：億円						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 []	予定	8,900.00	9,925.00	9,950.00	9,975.00	10,000.00
		実績	8,914.95	9,975.32			
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	予定					
		実績					
	成果指標4 []	予定					
実績							
トータルコスト (千円)	予定	2,756,047	2,730,028	0	0	0	
	実績	2,755,778	2,716,938			0	
内部評価	貢献度	基本方針の目指す姿は、商業の活性化や工業の競争力強化を図ることで実現されるため、本施策目標「商工業総売上高の向上」は、基本方針の実現に大きく貢献するものである。					
	達成状況	商工業の総売上高は目標どおり進捗している。下位単位施策の目標である市内事業所数については現状維持に終始し、目標は未達となった					
	課題	事業主の高齢化、後継ぎ等の不足による事業所の廃業数が創業数を上回ることから、新規創業への支援と経営安定支援を重点的に行う必要がある。					
	取組方針	本年5月、国の認定を受けた創業支援事業計画に基づき、創業支援に努めると共に、既存の制度融資を有効活用いただくよう広く周知し、商工業の振興を支援する。					
外部評価	本基本施策の成果指標目標に対する実績は順調に推移しているが、下位の単位施策について工業の振興が未達の状況であり、工業振興策の見直しも含めて新たな取組みを模索されたい。市内立地企業の有する技術的なポテンシャルは高いと思われるため、ビジネスマッチングや技術革新を図る支援も検討されたい。 また、商業振興については、農業者との交流を図る場を設けることで、売上向上に繋がるきっかけづくりを進めること。						
基本施策達成のための単位施策	施策コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	6201	商業の振興				62,986	100
	6202	工業の振興				2,653,952	85